

少人数学級について

【国】

「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」（義務標準法）により 1 年生のみ 35 人以下学級編制

財務省・経済財政諮問会議：少人数学級の必要性の根拠、科学的根拠

文部科学省：教員の多忙化、いじめ等の課題、日本の公立小学校の学級規模はOECD加盟国 29 か国中 3 番目に大きい。少人数学級には効果がある。

【都道府県】

秋田県では、早くから全学年少人数学級

大阪府は、小学校 2 年生を国の加配措置を活用して 35 人以下学級編制を実施

【交野市】

これまでから国や府の施策により小学校 1・2 年生においては、35 人を最大の定員とする少人数学級編制が実施されている。本市では、それに加え、学習につまずきやすく、それを含む原因で不登校や人間関係のトラブル等の生徒指導上の課題が増加する小学校 3・4 年生において、平成 26 年 4 月より 35 人を最大定員とする市独自の少人数学級編制を実施している。

また、28 年度からは 5 年生に、29 年度以降は 6 年生にも少人数学級編制を拡充する。

○学校や教職員からは以下の声が寄せられており、保護者へのアンケートでも別紙とおりの肯定的な数値が出ている。

- ・教員が児童一人ひとりによく目が行き届くことで、丁寧な個別指導を行うことができ、つまずきの早期発見や対応が容易である。また、一人ひとりの発言や発表の機会が増え、教員がそれをつなげることで「思考を広げ・深める」「主体的に学ぶ」授業展開が構成できる。
- ・教員が一人ひとりに声をかける回数が増え、児童の話をしっかり聞くなど、きめ細かな対応をすることで児童の安心感が増し、いじめや児童間トラブル・不登校等の減少に繋がる。また、少人数であることから、お互いに助け合い、協力し合う雰囲気が生まれやすく、落ち着いた生活に結びつく。
- ・保護者に対しても、より多くの時間、よりきめ細かに対応することができ、保護者の相談への対応や意思疎通を図る等、保護者との連携強化に繋がる。

○5・6 年生への拡大

学習内容が更に高度化するとともに、家庭科や外国語活動等、教科数も増加する。

また、「暴力行為や不登校・いじめの割合が高くなる時期(国・府問題行動調査等より)」から見られるように、第二次性徴によって、心と身体に変化が現れ、精神的・身体的に不安定になる時期であると同時に暴力行為や不登校の割合も 4 年生より高くなる時期である。

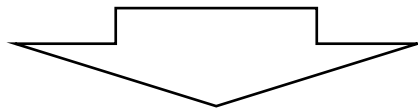
少人数学級編制による個に応じたきめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果が高まり、確かな学力・豊かな人間性・健康体力などが養われることで、中学校へのスムーズな引き継ぎが期待できる。

35人学級編制より、もっと少人数がよいのか？

- ・外国と日本では、授業によってクラスが変わったりディスカッション中心であったり、小学校の授業形態が違い、学級への帰属意識も違うので、学級の児童数を外国と比較して「少なければ少ないほどよい」とは言い切れない。
- ・学級活動や行事など、集団の中で成長することも多く、ある程度の人数は学級には必要。
- ・35人以下学級編制でも、中・高学年の授業は、国の少人数指導加配の活用で10数人または、それ以下の集団で行える。

交野市の少人数学級の特徴

- ① 中学年・高学年は、35人以下学級編成をした上で、国加配の少人数指導教員を活用し、学級分割での習熟度等の少人数指導
→国語・算数では、学級分割により、より少人数での授業形態となる。
- ② 授業改善と絡めた少人数学級
→交野スタンダードに基づき、毎月全小中学校を指導主事が訪問し、教員の授業を参観し指導を行なうことで、教員の授業力が向上。よりきめ細かな指導ができる。
- ③ 市費臨床心理士や学生ボランティアを活用した集団づくり
→規範意識や自己肯定感を高め、学習意欲に繋がる。
- ④ 35人学級が適用される学校には、年度当初に計画書、秋に中間報告書、年度末に報告書を提出させ、35人学級編成が子どもにとって有効に活用されるようにしている。



これら①～④を含め、学力の向上、生徒指導上の課題の減少、保護者・児童の満足度の上昇など、少人数学級の効果を高めるようにしている。

少人数学級整備充実事業拡大について

暴力行為や不登校・いじめの割合が高くなる時期(H25年度問題行動調査より)

※数値は大阪府の数

【暴力行為】

	4年生	5年生	6年生	中学校1年生
加害児童実数	約250人	約410人	約500人	約3000人?

約1.64倍
約1.21倍
平均約6倍

約2倍

【不登校】

	4年生	5年生	6年生	中学校1年生
児童実数	約400人	約490人	約600人	約1800人?

約1.22倍
約1.22倍
平均約3倍

約1.5倍

【いじめ】

	4年生	5年生	6年生
件数	約460件	約575件	約567件

約1.25倍
約0.98倍

約1.23倍

【少人数学級数の推移】

3～6年生で順次拡大実施した場合(最大数に近い見込み)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
国・府少人数学級対象学年	小1・2	小1・2	小1・2	小1・2	小1・2
市単費実施対象学年	小3・4	小3・4	小3・4・5	小3～6	小3～6
3年生学級増	2	3	2	2	4
4年生学級増	5	2	3	2	2
5年生学級増	適用せず	適用せず	1	3	2
6年生学級増	適用せず	適用せず	適用せず	1	3
国基準に比較した学級増	7	5	6	8	11
27年度適用学級との増減			+1	+3	+6

平成26年度授業に関するアンケート結果

(回答は少人数学級実施学校の保護者から)

交野市

※各項目、肯定的に答えた割合

	計	(お子さまは)楽しんで授業に参加していますか	(お子さまは)授業の内容が分かるようになっていきますか	(お子さまは)授業で分からないときやもっと知りたいとき、そのことについて教えてもらっていますか	(お子さまは)授業は質問や発表などがしやすい雰囲気だと感じていますか	(お子さまは)授業で頑張ったことを認めてもらえたと思っていますか
少人数学級 実施学年(3・4年)	86.63	91.61	86.53	84.50	83.41	87.63
少人数学級 未実施学年(5・6年)	80.92	83.07	83.08	79.52	77.65	81.30
差	5.71	8.54	3.45	4.97	5.76	6.33

(%)

対象校: 3年:長宝寺小、4年生:倉治小、妙見坂小、長宝寺小、旭小、藤が尾小、計426名中368名回答(86.4%)

5・6年:倉治小、妙見坂小、長宝寺小、旭小、藤が尾小、計754名中663名回答(87.9%)

5ポイント以上上回る項目

学級人数について(35人学級の場合)

※学年人数が奇数の場合、少ない学級の人数を記載

学年の人数	学級内人数	学級数	学年の人数	学級内人数	学級数	学年の人数	学級内人数	学級数
~35	~35	1	80	26	3	125	31	4
36	18	2	81	27		126	31	
37	18		82	27		127	31	
38	19		83	27		128	32	
39	19		84	28		129	32	
40	20		85	28		130	32	
41	20		86	28		131	32	
42	21		87	29		132	33	
43	21		88	29		133	33	
44	22		89	29		134	33	
45	22		90	30		135	33	
46	23		91	30		136	34	
47	23		92	30		137	34	
48	24		93	31		138	34	
49	24		94	31		139	34	
50	25		95	31		140	35	
51	25		96	32		141	28	
52	26		97	32		142	28	
53	26		98	32		143	28	
54	27		99	33		144	28	
55	27		100	33		145	29	
56	28		101	33		146	29	
57	28		102	34		147	29	
58	29		103	34		148	29	
59	29		104	34		149	29	
60	30		105	35		150	30	
61	30		106	26		151	30	
62	31		107	26		152	30	
63	31		108	27		153	30	
64	32		109	27		154	30	
65	32		110	27		155	31	
66	33		111	27		156	31	
67	33		112	28		157	31	
68	34		113	28		158	31	
69	34		114	28		159	31	
70	35		115	28	160	32		
71	23	116	29	161	32			
72	24	117	29	162	32			
73	24	118	29	163	32			
74	24	119	29	164	32			
75	25	120	30	165	33			
76	25	121	30	166	33			
77	25	122	30	167	33			
78	26	123	30	168	33			
79	26	124	31	169	33			
				170	34			
				171	34			
				172	34			
				173	34			
				174	34			
				175	35			

学級と学級内人数の関係は下表のとおり

学級数 (学級)	学級内人数(人)		
	~20	21~30	31~35
2	17%	57%	26%
3		63%	37%
4		51%	49%
5		40%	60%

学級人数について(40人学級の場合)(1)

※学年人数が奇数の場合、少ない学級の人数を記載

学年の人数	学級内人数	学級数	学年の人数	学級内人数	学級数	学年の人数	学級内人数	学級数
~40	~40	1	87	29		134	33	
41	20		88	29		135	33	
42	21		89	29		136	34	
43	21		90	30		137	34	
44	22		91	30		138	34	
45	22		92	30		139	34	
46	23		93	31		140	35	
47	23		94	31		141	35	
48	24		95	31		142	35	
49	24		96	32		143	35	
50	25		97	32		144	36	
51	25		98	32		145	36	
52	26		99	33		146	36	
53	26		100	33		147	36	4
54	27		101	33		148	37	
55	27		102	34		149	37	
56	28		103	34	3	150	37	
57	28		104	34		151	37	
58	29		105	35		152	38	
59	29		106	35		153	38	
60	30	2	107	35		154	38	
61	30		108	36		155	38	
62	31		109	36		156	39	
63	31		110	36		157	39	
64	32		111	37		158	39	
65	32		112	37		159	39	
66	33		113	37		160	40	
67	33		114	38		161	32	
68	34		115	38		162	32	
69	34		116	38		163	32	
70	35		117	39		164	32	
71	35		118	39		165	33	
72	36		119	39		166	33	
73	36		120	40		167	33	
74	37		121	30		168	33	
75	37		122	30		169	33	
76	38		123	30		170	34	
77	38		124	31		171	34	5
78	39		125	31		172	34	
79	39		126	31		173	34	
80	40		127	31	4	174	34	
81	27		128	32		175	35	
82	27		129	32		176	35	
83	27	3	130	32		177	35	
84	28		131	32		178	35	
85	28		132	33		179	35	
86	28		133	33		180	36	

学級人数について(40人学級の場合)(2)

※学年人数が奇数の場合、少ない学級の人数を記載

学年の人数	学級内人数	学級数	学年の人数	学級内人数	学級数	学年の人数	学級内人数	学級数
181	36	5	221	36	6	261	37	7
182	36		222	37		262	37	
183	36		223	37		263	37	
184	36		224	37		264	37	
185	37		225	37		265	37	
186	37		226	37		266	38	
187	37		227	37		267	38	
188	37		228	38		268	38	
189	37		229	38		269	38	
190	38		230	38		270	38	
191	38		231	38		271	38	
192	38		232	38		272	38	
193	38		233	38		273	39	
194	38		234	39		274	39	
195	39		235	39		275	39	
196	39		236	39		276	39	
197	39		237	39		277	39	
198	39		238	39		278	39	
199	39		239	39		279	39	
200	40		240	40		280	40	
201	33	6	241	34	7			
202	33		242	34				
203	33		243	34				
204	34		244	34				
205	34		245	35				
206	34		246	35				
207	34		247	35				
208	34		248	35				
209	34		249	35				
210	35		250	35				
211	35		251	35				
212	35		252	36				
213	35		253	36				
214	35		254	36				
215	35		255	36				
216	36		256	36				
217	36		257	36				
218	36		258	36				
219	36		259	37				
220	36		260	37				

学級と学級内人数の関係は下表のとおり

学級数 (学級)	学級内人数(人)			
	~20	21~30	31~35	36~40
2	3%	50%	25%	22%
3		30%	38%	32%
4		8%	50%	42%
5			48%	52%
6			38%	62%
7			28%	72%